

2008年4月4日

各位

旭化成株式会社

中期経営計画『Growth Action – 2010』の進捗状況と展望について

当社グループでは2006年度より、2010年度を最終年度とする中期経営計画『Growth Action – 2010』を実行中です。2年目である2007年度は、2010年度の目標達成に向けた具体的な施策を確実に実行しました。本年度以降は、2015年度の企業価値倍増も見据えた事業の拡大戦略を実施していきます。

1. 中期経営計画『Growth Action – 2010』について

『Growth Action – 2010』では、「グローバル型事業の拡大」と「国内型事業の高度化」を戦略の柱として、拡大・成長へ向け事業ポートフォリオの転換を進めることにより、以下の計数目標の達成を目指します。

＜連結計数目標＞	2005年度実績	2008年度目標	2010年度目標
売上高	14,986億円	16,500億円	18,000億円
営業利益	1,087億円	1,250億円	1,500億円
当期純利益	597億円	650億円	800億円

『Growth Action – 2010』の計数目標の確実な達成に向け、2006年度から2010年度までに4,000億円の戦略的な投資を含む総額8,000億円の投資の実行を予定しています。これまでの実施状況は以下の通りです。

	2006年度実績	2007年度予想	2008年度想定	2009～2010年度想定
設備投資額（決定ベース）	1,000億円	1,500億円	1,500億円	1,500億円前後/年※
設備投資額	844億円	800億円	1,500億円	1,500億円前後/年※
減価償却費	716億円	730億円	890億円	900億円以上

※（M&Aを除く）

2. 2007年度の進捗状況

2007年度は、原燃料価格の高騰や年度後半の急激な円高などの影響を強く受けたものの、2010年の計数目標の確実な達成に向け、積極的に設備投資を決定しました。なお、株主還元の充実を図るため、2007年度の配当額は2006年度より1円増配し、中間配当と合わせて1株当たり13円とする予定です。これにより増配は4期連続となりますが、今後も継続的な利益成長による継続的な増配を目指していきます。

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度(予定)
1株当たり配当額（年間）	6円	8円	10円	12円	13円

3. 2015年度の企業価値倍増に向けて

当社グループでは、2015年度に売上高2兆円以上、営業利益2,000億円以上を達成し、2005年度比で企業価値の倍増を目指します。この目標達成のため、以下の5つの重点成長領域を設定し、本年度以降具体的な戦略を実行していきます。

- (1) 電子材料新事業の創出（グループ内資源の集中・統合、2009年4月に事業会社を新設）
- (2) 医療関連事業の拡大、新事業の創出（海外販売体制の強化、2008年10月持株会社直下に再編）
- (3) 膜分離系新事業の創出（水処理ビジネスの未着手分野への展開）
- (4) 石油化学系事業のグローバル拡大（AN、ナイロン66系事業など優位事業のグローバル展開）
- (5) 電子部品事業の拡大（海外販売体制の強化、新規用途展開の基盤整備）

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

旭化成株式会社 広報室 TEL：03-3507-2060